

発行 車体発 16 第 175 号  
2016 年 11 月 17 日

## 2016年度秋季会員大会のご挨拶

11月17日に開催しました秋季会員大会における会長 渡邊 義章（日産車体㈱ 会長）のご挨拶をお知らせいたします。

車体工業会会长を務めております渡邊でございます。会員の皆様には、日頃から当会の活動にご支援・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

また本日はご多用中にもかかわらず、このように多くの会員の方々にご出席をいただき、秋季会員大会を開催することができましたことに心より感謝申し上げます。

さて、本年度4月から10月の当会会員生産台数累計は、130万台、前年比95%となっております。そして、カーメーカーからの委託生産車を除く当会特有車種を見ますと、9万9千台、前年比97%となっております。月度生産台数では8月に103%となったものの、その他は前年割れの状況で、下期の生産台数につきましては、現在の状況で推移するものと考えております。

それでは、当会の事業計画の進捗状況について少しお話しさせていただきます。

なお、今年度は、「安全対応活動の推進」「環境対応自主取組みの推進」「中小企業支援活動の推進」

「活性化活動の継続推進」の主要活動4項目について活動しております。

まず、第1項目の「安全対応活動の推進」については、会員の皆様の技術的困りごとへの対応として5項目に取組んでおります。その内、可動部品の申告に関する取扱いについては当会の考え方を自動車技術総合機構に理解いただき、合意することができました。また、除雪用の空港作業車の連結装置装着容認要望については、関係通達の改正に繋げることができました。

第2項目の「環境対応自主取組みの推進」では、この後、環境委員会委員長の網岡副会長からお話をさせていただきますが、環境適合ラベルの取得推進について、取得して良かったと実感していただける取組みを進めております。そして、取得にあたり何か困っておられることがございましたら、会員の皆様とコミュニケーションを図りながら、支援を希望される会員の皆様には、一緒に課題解決に取り組んでおりますので、ご遠慮なく相談いただければと思います。なお、継続して取組んでおります、CO<sub>2</sub>、VOC、産業廃棄物の削減とも、皆様の協力のおかげで目標を達成出来る見込みです。

第3項目の「中小企業支援活動の推進」では、税制改正や規制改革などの各種要望を提出し、その実現に向け関係団体と連携した取組みを推進しております。また、コンプライアンス優先経営支援策として、コンプライアンス意識の醸成をサポートする、「コンプライアンスサイト」を当会ホームページに新設しましたのでご利用願いたいと思います。

最後に「活性化活動の継続推進」では、2018年に迎える、当会の「創立70周年」事業を着実に推進しております。そして、車体業界の認知度向上を図るためメディアニーズを把握しながら、プレスリリースの計画的発信を行っております。

以上のように、本年度事業計画は、概ね計画どおり進捗していると判断しております。なお、下期に実効を上げる項目もありますので、上期以上に皆様方のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

さて、来年は、「第45回東京モーターショー2017」が開催され、当会では前回に引き続き、「働くクルマ合同展示」を計画しております。既に出展の意向を示していただいた会員様もございます。12月末までの申し込みとなっておりますので、検討されておられる会員様には出展をよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、会員各位のご健勝とますますのご発展を祈念いたしまして、開会のご挨拶にかえさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。

以上

(本件の問合せ先) 日本自動車車体工業会 事務局 色摩